

理 事 会 報 告

震災により、遅れていたが、H.7.7.19.凌霜クラブで、下記事項が討議・決定された。

1. H.6の予算・実績。別表どおり。
 2. H.7の事業計画と予算。(予算別表示)
- A) O.B./現役の親善戦&懇親会。
 恒例どおり、去る4月29日に復旧なった六甲台グラウンドで、盛会裡に行なわれた。
 (詳細は前会報#36号で各位に報告した。)

- B) 総会の開催について。
 東京、H.7.9月に行なう予定とし、詳細については、宮島氏(H.1卒)に幹事役を務めてもらい、在東の理事と相談しつつ決めてもらう。
 本部、趣向を一新して、現役の当期リーグ戦、初戦の日に行う。その試合を応援観戦し、後総会とする。

☆スケジュールについては、日取り決定次第、会員に往復ハガキで連絡する。

- C) 現役援助について。
 本年度は150万円相当の現物支援にする。
 相変わらず現役が日常練習用に保有しているボールの数は頭数に比して少な過ぎると判断しているため、ボール購入代を30万円増額する。
 加えて、関東チームとの対戦組に新規開発の努力を早急にすべきである。例えば一ツ橋戦で東上した際にもう一戦・二戦組んで貰える相手開発努力すべき。遠征戦補助として20万円認。
 (H.7 本年は、その為の調査費と言うところ。)

- D) 夏合宿参加 O.B への補助金について。
 補助金
 宿泊される方に……2.5万円
 日帰りの方に……1.5万円、を補助する。
 ☆このO.B資格の見解
 大学院生、及び、現役登録していない留年生、にも補助金支給する。

- E) 監督費: 40万円とする。
 F) 会報費: 28万円とする。(600部×年2回)

☆上記の諸項目を合算した、
 H.7、当会年次予算は、350万円です。
 項目毎の詳細公表は別表で御覧頂きますが、いづれにしても、この支出は会員各位からの会費によって成り立つ訳ですので、お忘れなく会費ご納入頂きますようお願い致します。
 ご参考までに、現在会員480人居られますので7割以上のご支援が必要なのです。

☆☆ 会費振込み・お願いの件
 振込用紙を同封致します。早速右記宛御振込み下さい。
 イ・～迄のご協力に御礼申し上げます、今年H7分のお振込み方宜しくお願い致します。
 ロ・H6分迄お忘れの方、H7分と併せてお振込み戴きます様をお願い致します。
 ハ・既にお振込みの方に御礼申し上げますと共に、H8分につきましてもよろしくお願い致します。

H.6年度 決算 (H.6.4.1~H.7.3.31)
 森内理事 (S.56 卒)
 (単位: 円)

<収入の部>

項 目	予 算	実 績
前年度繰越	2,638,632	2,638,632
会 費	2,400,000	3,650,000
そ の 他	120,000	968,683
収 入 計	5,158,632	7,257,315

<支出の部> (単位: 円)

項 目	予 算	実 績
クラブ運営費	300,000	294,200
会報作成費	266,000	278,664
通 信 費	100,000	55,360
協 会 費	20,000	19,500
現 役 補 助	1,000,000	999,315
三商大補助	50,000	50,000
O.B 合宿補助	300,000	275,000
総会運営費	150,000	362,650
監 督 費	300,000	344,946
会 議 費	100,000	28,416
名簿作成費	500,000	533,271
雑 費	50,000	102,317
次期繰越し	2,022,632	3,913,676
支 出 計	5,158,632	7,257,315

収 入 - 支 出 = 繰 越 金
 7,257,315 - 3,343,639 = 3,913,676
 内 訳
 三和銀行 113,398
 住友銀行 1,761,832
 〒通帳 2,011,153
 〒口座 0
 現 金 27,293

(当日参加の理事)
 國領・田中 (S12)、今津 (S23)、柏木 (S26)
 井澤 (S30)、西松 (S31)、浜田 (S33)、葉室 (S43)
 阪下 (S48)、向井 (S61)、岡田 (S62) の諸氏。

会費納入お願い
 我々の会です。O.B間の連絡と、後輩支援とが円滑に行なえる為に、今年も貴方からの会費納入を宜敷くお願い致します。(同封の郵便局用紙ご利用下されば、手数料不要ですよ。)
年会費 10,000円
 ○住友銀行 天満橋支店
 普通預金 No. 957978 凌霜ラグークラブ
 ○三和銀行 大阪駅前支店
 普通預金 No. 27557 凌霜ラグークラブ
 ○郵便局
 大阪 6-302152 (旧) 凌霜ラグークラブ
 00960-4-302152 (新)

H. 7年度 予 算 (H.7.4.1~H.8.3.31)

〈収入の部〉

(単位: 円)

項 目	予 算	備 考
前年度 繰越	3,913,676	
H7会費徴収予定	2,400,000	Min. 240口期待
そ の 他	120,000	寄付・利息、他
H7収入予定計	6,433,676	

〈支出の部〉

(単価: 円)

項 目	予 算	備 考
クラブ運営費	300,000	OB戦懇親会・他
会報費(〒含)	280,000	年2回発行
通 信 費	100,000	切手・封筒
協 会 費	20,000	ラグビー協会費
現役補助費	1,500,000	球・器材・遠征
三商大戦補助	50,000	
OB合宿参加補助	300,000	泊2.5万・帰1.5万
総会の運営費	400,000	案内費・会食費
監 督 費	400,000	監督・現役打合
会 議 費	100,000	理事会費補助
雑 費	50,000	振込手数料・他
次期への繰越	2,933,676	
H7支出予定計	6,433,676	

現役・H. 7春の戦跡

試 合 日	神戸大	対戦相手
4月22日(土)	● 神戸大 0 VS 2 2	大阪大
23日(日)	● " 5 3 3	関西大
29日(祝)	○ " 3 4 5	凌霜ク
5月4日(祝)	● " 2 2 3 9	大市大
6日(土)	○ " 4 3 5	一橋大
14日(日)	分け " 1 2 1 2	関学大
20日(土)	● " 1 0 3 2	阪学院
21日(日)	● " 2 1 4 4	天理大
6月3日(土)	○ " 2 5 7	京工織
10日(土)	○ " 3 1 7	大経大
11日(日)	● " 1 4 2 2	大教大
18日(日)	● " 7 4 2	甲南大

H. 7の 三商大戦 結果

5月4日	● 神戸大 2 2 VS 3 9	大阪市大
6日	○ " 4 3 5	一ツ橋大

☆ 神戸大は一勝一敗で第二位でした。
 ☆☆ 当番校: 今年H.7は大阪市立大学、プレーは大市大グラウンドで行なわれた。
 来年H.8は、一ツ橋大学が担当。

現役・今秋本番B・リーグ、スケジュール

試 合 日	対戦相手	k.Off	場 所
10月8日(日)	関西大	13:00	東大阪G
15日(日)	大教大	13:00	"
22日(日)	大市大	14:40	大市大G
29日(日)	摂南大	14:40	摂南大G
11月12日(日)	甲南大	11:00	関西大G
19日(日)	天理大	12:40	"
26日(日)	大産大	10:20	"

☆現役諸君が一つでも上位を目指して健闘してくれる様、平素からの努力を望んでいます。

現役・今秋本番B・リーグ初戦応援観戦と凌霜ラガークラブ H. 7年 総会

会員各位宛に、予め今回の企画を立てられた、葉室氏(S.43:現役の監督)阪下氏(S.48:現役のコーチ)の肝煎によるご案内を差上げた通り、10月8日(日曜日)に上記双方が行なわれた。

先ず、現役の先行きが推測出来る重要な初戦が、東大阪市球技場で行なわれた。

当日、雨もよいたが、風は穏やか。梅田・難波辺りは御堂筋パレード観客が盛ん。近鉄の鈍行で東花園駅に降り、駅員に“案内のハガキを示して球技場の所在を聞く、2~3人盤回して相談していたが確たる指示を得ず”ママヨと花園ラグビー場方向へ結構いく人々に交じって行く。途中で大市大ラ部員に出会ったのでコレ幸いと尋ねたが不詳。

-このボンクラ奴、ソナホコツチャカラBクラスにオチルンヤナイカと胎の中で悪態を吐いてやった。なぜって彼等は神大のあと同一Gで対天理を戦っていたのですよ。も少し行く内にメイン・ゲート正面へ着いた。切符売場には長蛇の列、改札口で男子職員氏を呼んで貰って当方の場所を聞く・親切にワザワザ暫し付添って懇切に指示して下さった。有難う・判りましたヨ・有難ツイデナガラお宅の今日の試合は何ですか?と質問した処、返事は「神鋼vs近鉄ですよ。」との答え。そんなビッグ・ゲームが本で行なわれる事を知らずに質問したコチラが恥かしくなり、丁重な御礼と貴方のナイス・ゲームを、とを申し上げて、東大阪市球技場へ向かった。

それは、花園Gから東100メートルに位置し、南北長手で、芝生の、フット・ボール専用Gだった。西側・長手に観客用10段を設け、東に生駒連山を望む、仲々良いグラウンドですよ。

13:00 K.O. (小雨、無風、南陣関大先蹴)
 02分: 神大・関大陣 25M 迄好 T.Kick で攻込んだが L.Out をものに出来ず押戻される。モツタイナイ。(S.59・石崎氏、ライン・アウトが弱いな。)
 05分: 関大・約 25M, Scrum から左へ回し T. (スクラム押され気味やな)
 10分: 神大・約 30M 正面からの PG 外す。モツタイナイ。(此処で3点返すと、反撃の勢い付いたのに。)
 15分: 関大・約 40M 左から PG 成功。

30分: 神大: 約40M右寄からのP.G外す。モツタイナイ。

35分: 関大: 約20M右寄: 神大ペナルティーからT。

40分: 関大: 約30M右隅: 神大KickをカウンターT&G。

(前半終了: 神大 0 VS 2 0 関大)

10分: 関大: 自陣20M~ロックが神大正面約30M迄走り、P.G成功。

15分: 関大: 神大陣30M右L.Outへ押込み、勢いは神大陣正面へ移動し、

17分: T&G成功。

☆ 神大: コレデハ為らずと奮起したのか

(関大がモウ勝ったと思ったのか)

20分: 神大: 関大陣右30M。L.Outから押しに押し関大陣右10M辺りで再三S.Hがタテに突っ込み...

「S.31の松本サンがベタ誉め称賛のS.Hの攻撃だ。但しパスについては更に研鑽を要するがとの注つきだが。」

「...ネバリ強い関大陣正面30M付近での競合いから、神大Fwsが好球を出した。S.Hが、今度はBksへ、⑩~⑫が果敢にタテ突き、⑪が大きく左エンドから中央へ回り込み、待望のトライやっど・ヤッタぞ! 然しゴールはどうか?

35分 ☆ G.Post左寄り 約40MのG.Kick。又、外すのでは? と心配した。成功した。

☆☆ プレース・キッカーは3回蹴って、最終回丈成功。第一蹴...正面から右へ外した。

第二蹴...右寄から右へ外した。

第三蹴...左寄から右へ巧く決めた。

キッカーが同一人だったとすれば、此の選手は

“スライス癖を徹底的に直すか、又は

G左寄からの場合しか蹴ってはならぬ”

B.Ksリーダーはキッカーの適性を試合中に理解・判断・指示しているのか? 数多く育てる練習を平素から課しているか、時間を設けているか?

☆☆☆ 応援・観戦のO.B連から、スクラム弱い、ライン・アウト弱い、ボックス・アタック時のアタリ弱い、Gキック弱い、アドバンテージ時の仕掛けが何時も遅い...

等々 嘆き・惜しみ 数々の内にタイム・アップ。

(後半 神大 7 vs 1 0 関大)

(Total 7 3 0)

現役・H. 7. リーグ戦、直近の戦跡

(既報 ● 神戸大 7 VS 3 0 関大)

10月15日 ● 神戸大 1 3 VS 1 7 大教大

22日 ○ # 1 8 8 大市大

29日 ● # 1 0 1 5 摂南大

11月12日 ○ # 5 7 6 甲南大

19日 ● # 3 3 1 2 天理大

☆ 残された、大産大との一戦が、Bに残れるかどうか? の重要な分岐戦になる。

姿勢を低く、縦へはタメライ無く鋭く突進せよ!

悔いない最終戦を戦え! 結果嘉しを期待す!

“うれしいニュース”

11月26日の最終戦は神戸大3 7 vs 2 0 大産大で勝。3勝4敗の4位でBクラス残留。よくやった。

H. 7 総会

於: 都ホテル (上六)

会員各位宛てに葉室氏・阪下氏から予てご案内のとおり、10月8日・PM 5:00~明香の間で司会石崎氏 (S.59) により開始。

太田会長・挨拶。國領名誉会長・乾杯音頭。

会計報告・イ項 H. 6 決算 (本号1 Pに掲載)

ロ項 H. 7 予算 (本号2 Pに掲載)、

両項を総会の席で発表し異議なく承認された。

葉室現役軍監督・現役の状況談。

地震以後種々の不備点をカバーすべく努力した心算で、本日初戦の関大に臨んだが、ご覧通りの至らぬ内容で敗けた。

本年のB・リーグでは天理と摂南が強いので神大に危機感を持たせる要在りと認める。

そのように指導するので、他の諸O.B氏からも更なるご指導・ご支援をお願いし度い。

参列者からの一言。

田中初氏 (S.12)・血ワキ肉オドル熱戦を見せて欲しい。取分けスクラムはもつと頑張ってください。

今津氏 (S.23)・現役部員数が多過ぎて練習や、試合出場者の人選にも苦勞多いとの事だが、もつと精鋭主義に絞る方向を打出せませんか。

木田氏 (S.24)・皆さんのお元気な顔見て幸い。

松本氏・西松氏 (S.31)・Fws戦が壊滅的だったのは痛い、後半30分から関大陣で戦ったアノ馬力アノS.Hの前への突っ込み意欲は良かった。シメて見てCクラスでな事に成らない様に祈る。

山口氏 (S.36)・相手25Mへ入ってからの決定力不足を痛感するが。シーズンに入った今の時点では、タメライズ瞬間的に前へ! の精神力発揮のみ。

佐々木氏 (S.42)・応援部員に激励の品位向上望。

室賀氏・徳宮氏 (S.43) 瞬時に前へ! のモットーを実行せよ。リーダーはもつと厳しく局面指示せよ。

福原氏 (S.45)・平素の練習通りのプレーが出来てなかったようだ。だから“アタリ不足、スピード不足”を感じた。此の時点では、思い切りの良いプレーのみが残されている、捨て身で行け。

阪下氏 (S.45, 現コーチ)・1プレーから次へのツナギをドウスルカについての意志統一が出来て無いからタメライが生じ此処一番の切処で一瞬の遅れが出て、攻めきれず・守りきれず疎になる。リーダーは素早い指示を出し、意志統一計れ。

佐藤氏・楠谷氏 (H.6)・リーダーがチーム員の意欲を盛りたててマトメ、奮起させる要あり。初戦は不本意だったであろうが、このあと奮起して恥じない戦をし、より良い結果を得る事を期待。

石崎氏 (S.59)・1プレーあつて、直後ドウ展開サセルかの対策が無いのでは? リーダーは此れを瞬時に樹てて指示、徹底せねばならぬ。殊に25M付近での攻防でモタモタして攻切れず、守り切れな

い状態が目立つ。こういう場面こそもつと或る指示に裏打ちされたクイック・アクションが要求されるのだ。もつと得意の筈の頭を使え。ライン・アウトもマイ・ボール・ケースでも殆どモノに出来ていない。“2・4・7連動でヤレ!”

現役首脳陣 (溝口 Capt・辻 V.Capt・安武 Fw リーダー・安田 Bk リーダー・岡増主務)

やり直して、頑張ります!

村田裕子氏 (H.4)・(若く、多感で、拘束されるナニモノも無い現役諸君の現在はバラ色でしょうが情報多き現代社会では、ソレハ・ソレダケニ種々の誘惑や中には陥穽もあるでしょうから、右顧左眈せず勉学とラグビー一途に励まれる様にの意か) 諸ユウワクに負けぬ様に努力してください。なお一年先輩でラ部に貢献し、H.3に卒業後リクルートで社会人としても努力し、H.5の六甲台にてのO・B戦時にも出席されていた岸野佳代子先輩が急逝された。同時期に在部し、マネージャーとしての指導を頂いたり、苦楽を共にした人が若くして亡くなられた事を何たる無情かと嘆じつつ、この席を借りて会員・部員の皆様にご報告と、冥福を祈ってあげて下さればと願います。

吉川氏 (S.51)

凌霜ラ・ゴルフ会の予定

関西G/Cで12月初旬の土日辺りを目処として計画を具体化し、近々ご案内を差し上げる。

一同、心中にTomorrow is another day. と期しつつ商神とエールで閉会。

H.7 Bリーグ観戦雑記 - 今年の天理大は強い

神・関戦終了後、次のマッチが、大市大VS天理大だった。総会開催迄、此の試合の前半位は観戦出来る時間的余裕が有りそうなので前半を観た。

開始後10分間だけ大市大が押して、1-PGを得たが、その後は全ての面で天理大が優っていて、前半の結果：大市大3 - 35天理大だった。

此の内容と、先程の神大の内容を比較して見て、Aから墜ちてきた大市大と、Cからアガつて来た天理大とのハサミ打ちでハジキ・トバサレルのは神大の可能性が高いなど直感しゾットした。

(S.36山口氏の解説によると、天理は暫らく仲違い関係にあった高校・大学間の関係が、最近融和されたのでラ部も嘗ての栄光を直ぐに取戻すであろう、而も此の出来だと本年度中にBリーグ優勝とAリーグ入りとを同時に果たすことが可能かもとのゴ宣タク。) それを伺って、こつちがそんな新天理トルネードの一過性トバッチリを蒙るのは御免だ、今年こそ悪くともブービー位置を必死で獲得せねばとヒシヒシと思いつつ、総会の会場へと移動した。

現役の連中は、己が置かれている立場が判つとんかないな? と心配しつつ。悪夢霧散を祈るばかり。

平成7年(10月1日現在) 会費納入者一覧 (敬称略)

ご寄付：金田晴作 (S.20 卒)

納入者：

- S.26. 柏木昭二郎
- 27. 太田、永田、池田、平木
- 28. 河野、依藤、森本、坂口
- 29. 山本、子安、西松
- S.30. 伊澤、名取、横田
- 31. 小林、永井、浅野、西松、高塚
- 32. 安中、小川、大音、☆勝屋 (サンパウロから送金確に受領しました。今年は日伯修交100年記念の年、今年も送金シテヤ!)
- ☆☆ついでながら、海外駐在中の会員殿に一言、“以前と違って、エンダカの今、会費納めてネ”
- S.33. 山下、浜田、竹村
- 34. 塩谷
- 35. 多々見
- 36. 山口、永田
- 38. 富士、松村
- 39. 松下、野村、中重
- S.40. 国澤
- 41. 松村
- 42. 武田、向井、岩崎
- 43. 原口、寺西、矢野、葉室、田畑、山岸
- 44. 田中、用水原
- 45. 和田、清水
- 46. 小川
- 47. 尾上、並河
- 49. 森
- S.50. 吉沢
- 52. 中崎、山形、糸井
- 53. 浜田、中野、田中、山之端
- 54. 土岐
- 55. 加藤、新井
- 56. 森内、本間、浜名、黒田
- 57. 中本
- 58. 久門 (耕治・奈利子)、椿、仁張、向井
- 59. 小松、三森、石崎、江口
- S.60. 遠藤、玉置、渡辺
- 61. 向井、山口 (基・路子)、中瀬
- 62. 柴田、岡田
- 63. 大野、上森、尾崎、竹島、福田
- H.1. 帆谷
- 2. 橋本、西松
- 3. 山際、脇田、渡辺、高橋 (堀口) 小百合
- 4. 坂本、諏訪、村田裕子
- 5. 児玉、三宅、駒坂、安田、吉内
- 6. 東、木治、楠谷、堤、平松、竹峰
- H.7.10.1. 現在迄に = 以上の諸氏 = から御納入戴きました。

残余の方々からへも、お忘れなく、早期にお振込みの程 宜敷くお願い致します。 = ソレト別に、名ナシ振込み2名様、タズネ人 = の件。
 第一件：H.7.1.23. 三和銀へ¥20,000-振込者?
 第二件：H.7.1.10. 郵便局扱いで、甲賀から振込まれた方?
 いづれも振込人ドロンです、早速名乗り出て下さい。
 (会計担当理事：森内 Tel・0721-63-2755)

オーストラリアのラグビー事情

島村邦雄 (S.25卒、オーストラリア在)

昨年、シドニーの西約310kmのカウラで小学校の日本語教師をしています。

ホームステイ先はラグビー狂のおばあちゃんとその息子が当主にあたる人、36才の高校教師・元豪州高校代表のロック、現J.R.リーグの一級レフリー、といった愛好一家の所で恵まれた事もあり、当地のラグビー事情を知るのにはモチモチコイの環境なのです。

上記の様な恵まれた環境中から見、聞き、感じた当地のラグビー事情の一端を披露してみましょう。

オーストラリアでのラグビーには、下記の3種があります。

①一番人気のあるのは、ラグビー・リーグ戦です。13人編成で、毎週各地でゲームが行なわれます。先日は、選手が出身州別に分かれて戦うオールスター戦がありましたがこの試合に関してはT.V実況放映、録画放映、ワイド・ショー番組での解説対談、人気アナの舌戦等々で盛り上がり、更にトトカルチョも加わり、野球でのワールド・シリーズ並の凄人気。

②その次が、オーストラリアン・ルールズなるゲーム。広い楕円形のクリケット場を冬の間使う様に開発された。兎に角良く走しくり回ります。T.Vで見ているとドッチへ攻めているのか判らなくなる事が多々あります。リーグ戦に次いでT.V放映も多い。

③最後が、日本が信奉する、ユニオン・ラグビーですがこれについては、当地では、国際ゲームしかT.Vには出ません。

さて、今回のラグビー・W.C戦で日本はNZに大敗し世界レベルとの差を思い知らされましたが身体的条件等は別にして、その差の基が何処に在るのかを底辺の部分から見してみましょう。

この町、カウラの人口はたった8000人なのですがジュニア・リーグが3つのクラブ、ラグビー・リーグ(カウラ・マグパイズ)が1つ、ラグビー・ユニオン(カウラ・イーグルス)が1クラブ保っているのです。

先ず、ジュニア・リーグについてお話ししましょう。
=グラウンド=町には大きく広々して一面緑の草っ原のスポーツ公園が2つ在り夏は両方共クリケットをやっているが、5月になると、1つにはラグビー・ポールが3組とサッカー・ゴールが6組立ち、もう1つにはグラウンド・ホッケーのゴールが9組立ちます。

ジュニア・ラグビー用に3面使用出来るわけです。1面は14才以下だがジュニア・リーグ戦用の正規サイズのもの。次は、もう少し年少の見用。最後は8~6才以下の幼児用のミニです。(年令に応じて随時コーンを立てて縮小して使います)この3面を使って、毎週土曜日の午前中にゲームを行います。

=チーム= この町のジュニア3クラブ(カンガルー、ワラビー、ベアー)には、それぞれ最良のお店や、〇〇会、等々がスポンサーとして支

援していますし、若者がコーチとして、2~3人で面倒を見ている、勿論ボランティアでしょう。プレーヤー(子供)を送ってきた親御さんがそのまま応援傍世話係りにもなります。

=ゲーム=

①6才、8才、10才、12才、14才以下でそれぞれゲームをします。

②危険防止の為、軽いシュルダの着用も可。

マウス・ピースは全員使用。

③タックル或いはジャージを掴まれた時には早めに「ボールド」、「ヘルド」とレフェリーがコールし、引離し、ヒール・アウトさせます。

④スクラムなし。ライン・アウトも無し。

⑤トライ後のゴール・キックはゴール正面からフリーで蹴らす。

⑥15才以下、16才以下になると、この町カウラの代表として、近隣の町との対抗戦に出場します。

☆これだけ種々留意して、やらせていても、所詮格闘技ですから、泣きだす子がいたりしてホホエましい限りですが、反面各チームに1人、2人は居るトライ・ゲッターは子供ながら素晴らしいランニングを見せてくれますよ。

=感想=

代表チームの強さの秘密を考えると、中層の厚さと底辺の広さに行着く。底辺の広さを考える時、このジュニア・リーグの存在が重要です。日本も各地でラグビー・スクールが出来、それぞれ有志の方が育成に努力して居られるが、スポンサーは付かない、ジツクリ面倒を見られるボランティアの指導者がいない、適当な試合相手が見つからない、練習・試合の為の安全なグラウンドがない、親の了解取付けが難しい、等々、無い無い尽くしが実状と思えます。然し、本当に日本のラグビーを強くしようと思えば、此処に人と金を注ぎ込む事が必要であろうと思えます。

(前編おわり。後編は次号掲載予定、乞御期待)

☆島村さんからのオーストラリア・ラグビー事情は、このあと益々微にいり細にいり、ナルホドナーと感心したり、広々した所で楽しく、ゆつたりと、やっとなるやな、然し狩猟・肉食民だけにブツカリ当たりについては幼い時からハゲシク又キツク力も闘争心も鍛えられ、その中から頭抜けた奴が輩出して来るやな、と言う日本では隠して言及されない基盤と層の厚さがエグリ出されていて、このような相手に対して今後日本ラグビー界がどう目指して対応して行くべきかの指針が在りますよ、次代の指導者たらん方々必読の後編ですよ。

☆☆島村さんが滞在して居られる「カウラ」なる所は、10月21日NHKシドニー発で40代のバスの運転手のトニーさんが話している「戦中・日本兵捕虜収容所があり、集団脱走事件の際我が家の納屋に3名隠れていて空腹そうだったのでオバアチャンが食物を与えた。現在900本の桜並木だが近々2000本にしたい程我々は親日ですよ。」の所ではないか?

英国地でのW.カップ、T.V観戦雑記

吉沢昌恭 (S.50卒、広島経済大勤務)

現在私は広経大から派遣の経済学・客員教授として、イングランド北部・ニューカッスルに程近いダラム市に在るダラム大学で研究中です。その間St.Aidan's Collegeなる建物に住んでいます。此処は学生・院生・教員・海外からの研究者等々の食・住の面倒をも見てくれる寮学舎なので、来年の3月までお世話になる予定で滞英中なのです。

さて、今回の、第三回ラグビーWC大会に英連邦からはイングランド、スコットランド、ウェールズ&アイルランドの4チームが参加している事もあって、英国地では、全32試合中の22試合がT.V生中継放映されました。私は此等を全部観る事が出来、大いに得した様な気分になっています。

同学寮にはフランスからの女性が居ました。とてつもない美人だったのです。彼女も懸命にテスト・マッチT.Vを視ていました、当然フランス応援でした。D組予選のフランスVSスコットランド戦で、インジュリータイムにフランスが逆転トライを決めた時などは大喜びでした。此れまで、彼女とは殆ど話をする事が無かったのですが、此れ以後ラグビー愛好の連帯感?とでも言うかが生まれたのか、話をしだす様になった途端の6月末に彼女は此の大学を去って行きました。残念です、それにしてもオシイ! (編集子から:試合に勝たんとせば、果敢に先手を採れ、さもなくば大魚を逸し臍を噛むのみ)

今回のWC戦は、南アフリカが、開幕戦でオーストラリアを破り、決勝戦でN.Z.を、それも延長戦の末破って優勝するという、ドラマや映画でも此処迄するとアザト過ぎるかと思われる程の劇的な進展を示して勝ち、永らく乾されていたが、新生南アの世界回帰と共に、最強ラウの存在を再確認させるものでした。

1995年5月25日、本大会のオープニング・デーに、マンデラ大統領が、開会挨拶演説をするのを視た時、アパルトヘイトの時代の事を想い感無量の思いに捉われました。更に、N.Z.との決勝戦の日には、大統領は背番号6のジャージーを着て登場したのです、この番号は南アが世界に誇るナショナルチームであるスプリング・ボックスの主将の番号なのです。

延長の大接戦の末オール・ブラックスN.Z.に競り勝った南アのNo.6フランシス・ピエナル主将に、No.6を着ての大統領が優勝カップを手渡したわけです。日本人の私にとってすら、このシーンはとても感動的なものだったので、南アの人々はどんなに喜んだ事でしょうか。

南アフリカでの動きをそれなりにフォローして来た者の一人として、この事が南ア新国家建設の歩みに新たな駆動力を与えてくれる事を祈らずには居られません。

1995年7月3日 ダラムにて

大好きだった先輩のこと

H4. 経営卒、村田裕子
現・阪急シアター・ドラマシティ勤務

岸野かよ子先輩が先日急逝去されました。私は職場のデスクで此の知らせを聞いた時、思わず「ウソ!」と大声を張上げて受話器を取落しました。私には同期のマネージャーが居なかつたので、彼女に対しては、単なる先輩として丈では無く、悩みを打明けられる同姓の仲間として、本当に頼りにしていました。クラブへ融け込んで行く切っ掛けや勇気、マネージャーの楽しさ、等々についても、教えて貰いました。私にとっての、神戸大学ラグビー部の思い出には必ず「岸野先輩との思い出」がオーバーラップするのです。

岸野先輩は、H3卒業と同時にリクルート社で活躍して居られましたが、二年程前内蔵を病まれ入退院を繰返していらつしゃると伺い心配してはいましたが、H5の六甲台でのOB戦時にも出席され先輩と懐かし気に交歓してらつしゃつた由、又彼女に寄稿依頼した本誌編集子氏へのH6.9.12付の返事によると「実家で加療中なので悲しながら目下即の報告種が無いが体は回復に向かっているものでいづれ又」との、お便りを出して居られた由、そんなこんなで気にはしつつも「ガッツのある先輩の事だから大丈夫、大丈夫!」と思つて居た矢先の悲報でした。勉学・クラブ活動・社会人としての仕事丈に邁進され、結婚・出産の大仕事を残したままで他界された彼女の無念性、如何にシンドクても彼女ならば上述の公私両仕事を努力と笑顔でこなして行かれたであろうに、を推測する時、同姓として、残念でなりません。

26年と言う短い生涯を精一杯生きられた事を思い、心からご冥福をお祈り致します。

私は、卒業と同時に入社した阪急電鉄で4年目になりますが、学生時代から熱望していた舞台制作の職場へ異動になり自分の夢に向かつて一步一步基盤を造っているところです。

岸野先輩から訓えて頂いた「常に明るく、どんな事にも全力投球!」を忘れず、頑張つてやっています。

— 訃 報 —

H7. 9. E迄に当会が承った情報に依ると、残念ながら多くの会員が他界されました。

渡辺藤四郎様 (S.13卒) 沖川芳人様 (S.15卒)
五島 治様 (S.16卒) 岡田 博様 (S.17卒)
岸野佳良子様 (H.03卒)

此処に謹んで御冥福を御祈り申し上げます。

今回総会席で、既報・野間憲三様も含め哀悼の儀を行なつた。(取分け岸野氏へは、直後輩に当る村田裕子氏から声涙伴なる弔辞が述べられた。)